

---

## 編集後記

---

暖冬も終わり、春爛漫の4月となりました。会員の皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。昨今われわれの周囲には良いnewsはまったくなく、テロ関連に始まり、狂牛病、医療費負担増、証人喚問、等の報道がふき荒れています。そんな中で昨年末のRoyal baby誕生はうれしいnewsの1つであり、また今年のWorld Cupでの日本代表の活躍に大いに期待したいところです。

本号も多岐にわたり、多くの論文が集まりました。昨年11月に開催された本医会シンポジウム「医療保険適用を視野に入れた血液浄化療法の系統化」を特集として取り上げ、各講師の先生方に執筆していただきました。血液浄化療法の定義とその適応病態につき、各分野より解説されており、会員の皆様はじめシンポジウムに出席できなかった方々は、是非一読すべき内容と思います。また、感染対策、臨床と研究、実態調査などの論文はいずれも日常臨床に必要な情報であり、医会は勿論、各支部、各施設に共通した内容は必読と思います。

本誌はこれまで広報委員会が主として編集・発行を行い、研修委員会関係の論文（セミナー、コンセンサスカンファレンス、特別講演、学術研究、等に関するもの）については研修委員会で編集にあたっていました。今後一貫性を踏まえ、次の第17巻2号より広報委員会がすべて担当することになりました。今後も本誌のさらなる充実を図りたいと考えておりますので、会員の皆様の建設的なご意見をお願い申し上げます。

広報委員会委員長 久保和雄